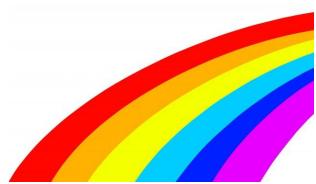




学校だより 1月特別号

市田 つ子



令和8年1月20日

できているかな？

2026年が始まり2週間が経ちました。今の学年になって10ヶ月。学年のまとめの時期を元気よく・気持ちよくスタートするため、次の事を見直してみましょう。

大事なのは「目標」そして「習慣」です。これから2ヶ月は、1年の中でもその学年で一番成長を感じる事ができる時です。

もう一度、基本に立ち返り、当たり前だけど、とても大切な事を確認しましょう。

下記の事項について、お子さんと一緒に確認、そして保護者の方の確実な見届けをお願いしたいと思います。

大事な習慣・成長のポイント6つ！

①ゲームやスマホは時間を決める

ゲームや動画視聴は一度購入するとずっと「無料」（通信料はかかりますが）です。

この無料に、子供達の大事な時間を奪っている事をとても心配しています。情報機器は正しい使い方をすればとてもよいツールです。約束を決めて、子供たちの健全な生活・リズムを守りたい、と思います。

- 時間を決めて、守らせます。
- 「ながら」操作はしません。
- 人と自分を傷つける投稿はしません。
- 情報は人が作ったもの。うのみにしません。

明日が「元気いっぱい」の1日になるように、生活リズムを整えましょう。

家族と決めた約束

-
-



②宿題はちゃんとやる・ちゃんと出す

学習の習慣を身に付けます。

同じくらいの時間に。同じ場所で。

同じ量の宿題を。自分の力でやります。

保護者の方は、連絡帳と照らし合わせて、毎日宿題の見届けをお願いします。ノートにといったサインを書いてくださる事なども効果的です。習慣になるまで粘り強く。。。。

③ふでばこの中身は そろえる・けづる

えんぴつ5本・赤青鉛筆1本
消しゴム・定規（以上のものは、次に買い替える時に無地・シンプルなもの）・ネームペン

一番大事な道具の1つ。自分で切る。



そろえる。それだけでやる気が違う。保護者の方は、学年に関係なく、1人でできるようになるまで、見届けをお願いします。



④つめは、切る

つめは、できるだけ、こまめに切ります。伸ばして、おしゃれをしたい人もいますが、つめを切ることは、

器用に手を使うためにとても大事な事です。

- 手に力を入れてものを「にぎる」
- 指先に力を入れて、身体全体を「支える」
- 器用に道具を「使い」力を入れて「書く」このために指先はいつでも、力が入れられるようにしたい。だからつめは切ります。



⑤明日の道具は自分でそろえる

小学生で一番大事な自分の持ち物が、いつも何かが欠けているのは、残念です。人は当たり前の習慣が崩れると前に進むのが難しくなります。時間割通りに教科書とノートを1つずつそろえて入れる。

道具をそろえる事を自分でできるようにしてください。

道具は、みんなの力を支えます。



⑥歩いてくる・帰る

毎日の小さな積み重ねは、気づいた時には、とても大きな力となって子供達を支える礎になります。「まだ小さいし」「遠いから」「荷物が重くてかわいそう」と心配になり「今日だけ…今週だけ…」となることがあります。でも、できるだけ自分の足で歩いてくる。帰る。これをお願いしたいと思っています。

子供達の成長は、どんな小さなことでもいい「自分の力でできる事を増やす事」です。

学校も毎日、声をかけます。

保護者の方と共に、子供達ができる事が増やせる後期後半にしたいと思っています。ご協力ください。今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。